



書初め 1/11 (土) (デイセンターあゆみの家)

あゆみの家

No. 123号

緊急時の対応

最近、“緊急時の対応”という言葉を見・聞きする機会が多くなってきました。大きな地震や台風などによる自然災害の増加、現在、拡大している新型コロナウイルス感染症防止への対応など、“緊急時”という言葉で連想する事態は、私たちのすぐ身近にあります。

あゆみの家では、通所施設やホームヘルプなどの障害福祉サービスを通して、地域（在宅）で暮らし障がいのある方々の支援が続けられていますが、前述の“緊急時”という場合は、こうしたサービスを利用される方々が地域在宅での暮らしを続けていくことが困難になる事態を意味します。あゆみの家に限らず、全国的に共通する課題です。

障がいのある方々の生活を支援する障害福祉サービスにはグループホームがあり、障害福祉計画などにより計画的に整備が進められてきます。グループホーム入居者数（128, 549人）は、現在では、入所施設の入居者数（128, 165人）を超えるまでになりました（二〇一九十一月・国保連）が、それでもまだまだ十分ではなく、特に、前述の“緊急時”に対応できる体制にまでには到っていません。

利用者の高齢化や重度化、また“親”なき後の居住支援の機能を整備するために、障害福祉計画に基づいて各市町や地域自立支援協議会等で検討が進められている「地域生活支援拠点等事業」では、相談やサービス体験利用の機会・場の提供などの機能とともに、これまで述べてきた“緊急時”の受け入れ・対応が、求められる主要な機能の一つになっています。短期入所事業（ショートステイ）の整備や支援者など支え手が十分に確保され、この“緊急時”への対応が早期に整備されるのが、今強く求められるようになってきています。

二〇二〇年の課題

理事長 中橋 昇



利用者さんの生活や、活動を支えて下さっている、職員の皆さんに感謝します。また、多くの支援者の皆さん、そして後援会、保護者会の皆様にも心から感謝申し上げます。

先日、地元垂井町社会福祉協議会から、垂井町地域福祉活動計画の素案が配布されました。それは、垂井町地域福祉計画と社会福祉協議会が計画する活動計画とが、整合性を持って連携推進する計画素案です。その素案の中にSDGs（エスディーズ）と活動計画の項と十七の目標（ゴール）が記載されていました。また法人あゆみの家の設立母体である大垣ルーテル教会の二月一日発行の月報「みざわ」にも「SDGsって知ってた？」と題して紹介されました。これは、二〇一五年に国連サミットで採択され、二〇三〇年に目標を達成すべきと国際目標が定められた内容です。国連サミットで定められた当時は、インパクトのあるニュースとして取り上げられました。今年は二〇二〇年です。目標達成まで、あと一〇年。

法人あゆみの家の運営精神は、「神から愛され、かけがえのない個性をあたえられている一人ひとりが、互いに尊重しあい、共に生き、共に学び、豊かな社会生活を送る事をめざして運営されている」と定めています。そしてSDGsのGoal 3は「すべての人に健康と福祉を」を目標としています。あゆみの家の運営精神とSDGsの目標とは整合していると思っております。あゆみ

の家が継続して行くべき事は、運営精神を実践して行くことです。あゆみの家にとって、それまでに達成すべき内容とは何か？

大きな課題は、人材確保と育成です。これから先、何年にも亘る大きな課題です。既に町内の社会福祉法人には、海外の人材が現場に配属されているそうです。あゆみの家もそうした人材も受け入れて、職員の負担軽減を図り、質を高めて西濃地域の福祉ニーズに応えていける、あゆみの家になりたいと思います。

一方、福祉の道を目指す職員希望者や、子育てに目途がついた人、OB職員も新たな人材として応じてくれています。感謝すべきことです。人材確保の目的で、広く地域にPRしていますが、なかなか充足されていません。また課題として、あゆみホームの改築と第二あゆみの家の改築の施設整備が有ります。そこには重心のかたのGHも視野に入れています。

新年度には、それらの道筋をつけることが、課せられた役割と考えています。神様の指導で、それらの課題に道筋が示される事を祈っています。願いが叶えられる様に、皆様の祈りに加えて頂ければ幸いです。あゆみの家は、来春、五〇周年を迎えます。その時は、大きな感謝の集会が開催出来たら良いな！と希望しています。

「求めなさい。そうすれば与えられます。探しなさい。そうすれば見つかります。門をたたきなさい。そうすれば開かれます。」
マタイによる福音書七章七節―八節

記) (SDGs: Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標)

餅つき

デイセンターあゆみの家

生活支援員

櫻井 章

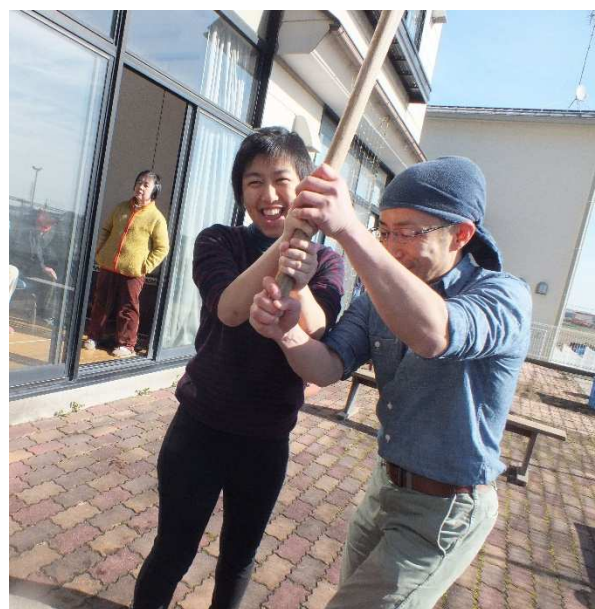
「よいしょー！、よいしょー！」

二〇二〇年一月十一日、空気の澄んだ青空の下、元気な声援が響きました。

デイセンターあゆみの家では、毎年恒例となりました「餅つき&書初め大会」、今年も晴天に恵まれ、午前中から皆さん、元気とやる気いっぱいで行事を盛り上げて下さいました。

昔ながらの石臼と杵を用意して、もち米が炊き上がる皆さん一斉に石臼の周りに集まります。順番に杵を回して、皆で協力し合い餅を捏ねていきます。餅がまとまり始めたら餅つきの始まり！とっても上手につかれる方、失敗しないように慎重につかれる方、力いっぱい元気につかれる方など十人十色！お餅の入った石臼を中心に、笑顔の花がたくさん咲いていました。

餅つきは以前、地域や家庭でも行われていた行事ですが、最近では人が集まらなくなったり、衛生面での問題があったりして、なかなか行われなくなってきました。デイセンターでは、皆で笑顔の輪を作ることができる餅つきを大切な行事ごととして、これからも頑張っ



青空の下、お餅をつきました！



利用者の皆さんと共に

ぐっどらんど 生活支援員

児玉 まゆみ

新しい作業棟に移り、「すまいるらんど」が「ぐっどらんど」に統合され、新生「ぐっどらんど」としてスタートし、早一年が過ぎようとしています。活動の流れも安定してきました。

ぐっどらんどの一日は、ラジオ体操から始まります。健康と一日の始まりのウォーミングアップを目的に取り組んでいます。皆、張りきって体を動かしています。グッディグループは、皆さんご存知のクッキーを中心に作っています。ほとんどの作業を利用者さんが取り組み、それぞれ得意な作業を担当されています。

一日の流れは、午前、生地成型・材料の量り・包丁で材料の刻みです。午後、焼きあがった商品の袋詰め・ラッピング・明日用の材料のふるいをかけ、卵をわってミキサーをかけ、生地をこねて作ります。作業一つずつ役割が決まっておりそれぞれが得意な分野で力を発揮され責任を持って取り組まれています。そして、全員で生地を丸めます。私たち支援員のアイデアも微力ながら加



ラジオ体操で一日が始まります

えて商品ができあがっています。

販売が重なる、お茶休憩の時間を短縮していただく事もありますが、「頑張ろう」と誰ともなく気合を入れてくださいます。

今後は、ドリームグループ（元すまいる）のメンバーとも一緒にどちらの商品にも関わっているよう無理なく協力しながら進めていき、注文いただいてもお受けできる体制づくりを進めていきたいと考えています。



クッキーなどの販売

各種委員会活動の紹介

あゆみの家では、利用者へのサービス向上のため、各種委員会を開催しさまざまな課題に取り組んでいます。その活動状況を紹介します。

安全対策委員会

委員長 説田 仁美

安全対策委員会では大きく分けると「防災」・「交通安全」に関する活動をしています。「防災」では、火災や災害を想定し検討します。実際に土砂崩れ等が起きないように、側溝の掃除等は各事業所に呼びかけを行ったり、台風が来ることが予測されると、土嚢をつんだり、利用者の安全を守るために努めています。「交通安全」では、散歩時や車両での移動時の安全についても確認しています。車両の点検や、交通マナーを確認し、各事業所の意識を高めています。今回、あゆみの家の南側に大きな駐車場が整備され、利用者の安全面を確保するために、交通ルールを提示して行きます。ご利用される方はご協力をお願いします。利用者の方々のびのびと、豊かに活動、暮らすことができるように委員のメンバーと定期的に時間を持ち話し合い、安全に過ごすことができるように努めていきます。



土砂崩れに備え側溝を掃除しました

合同職員研修会 報告

委員長 山下 美智恵

今年度の年間研修テーマ

「利用者が気持ち良く過ごせる支援・職員が働きやすい環境づくりをめざして」アンガーマネジメント研修」年二回、法人内の全職員を対象とした研修会を開催します。職員が積極的に参加しやすいように、どの事業所にもあてはまるような共通のテーマを決めます。今年度は権利擁護委員会より提案された「アンガーマネジメント」について一年通して学んだことを報告します。

私たち職員は仕事する上で、まずは心身共に健康な状態でなければなりません。いつも何かに不満を抱えていたり支援中にイライラしたり、さまざまなストレスを溜め込んだ状態で働いていると利用者を含め多くの方々に不快な思いや迷惑をかけてしまうことになります。常態化すると最悪の場合、事故や虐待に繋がります。そうならないためにも職員一人ひとり、心のケアとしてメンタルコントロールをしていくことがとても大切であること。怒りの感情と上手に付き合うために、まずは、職員自身の自己分析・自己覚知等、自分の傾向を知ることの重要性。そして、職員同士の相互理解を深めるために、それぞれの考え方や価値観を認め合うことが大切であること。職場環境が良ければよりよい支援に繋がることを改めて研修を通して認識することができました。日々の支援の中で業務に追われ心に余裕がなくなると研修で学んだことが薄れていきます。常に意識しつつ自己啓発を繰り返し行っていく必要があります。次年度も実践に活かせる研修会を計画したいと思っています。

クリスマス祝会

第二あゆみの家

生活支援員

山田

有紀

あゆみの家の大きな行事として毎年秋に開催される「あゆみの家祭」・冬の「クリスマス祝会」の二つが挙げられます。二〇十九年度の「あゆみの家祭」は、最大勢力と言われた台風十九号の接近に伴い残念ながら中止となり利用者様、職員ともに残念に思っていました。そのかわり「クリスマス祝会」は思いっきり楽しむぞ」という意気込みで利用者実行委員の方々を中心に祝会に向けて準備をしてきました。

クリスマス祝会は三つの事業所が集まり行われます。建物が離れていることもあり、なかなか一緒に練習や会議の場を設ける事が困難なため、例年デイセンターあゆみの家・第二あゆみの家の利用者様を中心となり進めていきます。しかし、今年度はぐっどらんの利用者様にも利用者実行委員・聖歌隊の参加を依頼し、祝会までの間に事業所で聖書朗読や聖歌隊などの練習と準備を行ってきました。

前日には初めてデイセンターあゆみの家・第二あゆみの家・ぐっどらんの実行委員、聖歌隊の皆で集まり本番の流れを確認しながら練習を行いました。いきなり本番ではなく、どの様に当日進めるのか皆さんもイメージを掴めたのか、当日はとても良い表情をされていました。人前で話すのが苦手な方も堂々と司会をされている姿に感動もしました。

利用者聖歌隊はこれまでにない大人数での発表となり「見応えがあった」ととても良かった」とお褒めの言葉も

頂きました。

ゲストは「ハッピーフレンズ」様をお招きしピアノ演奏、歌を披露して頂きました。皆さんも知っている曲も多く、一緒に歌を唄い手拍子をし会場の皆さんが一体となって楽しいひと時を過ごされました。また、ゲストが愛嬌ある方々で笑い声もたくさん聞こえる楽しいステージでした。



利用者聖歌隊



ゲストの発表

昼食は各場所です。サンドウィッチや唐揚げ、助六など豊富なメニューで、どれも美味しかったです。中でも大好評だったのがミネストローネでした。祝会でのバイキングも利用者の皆様、職員にとって楽しみの一つです。

午後からは「第二あゆみの家」「デイセンターあゆみの家・ぐっどらんど」に別れて催し物が開かれ、どの事業所も祝会に向けて練習した発表はとも素晴らしく、楽しいひと時を過ごしました。各事業所の方が集まる機会には少ないですが皆で何か一つの事に向かって努力し、時に助け合っている姿を見て嬉しい気持ちになりました。来年年度も楽しいひと時を過ごせるよう利用者・職員一丸となって催し物など企画し進めていきたいと思ひます。

出来事ピックアップ



ぐっどらんど (11/12)
綾里幼保園交流会



きずな2006 (11/10)
ドリームスポーツ大会



林町デイセンター (12/25)
クリスマス会



林町デイセンター (11/19)
ワンピースグループ みかん狩り



第二あゆみの家 (1/18)
餅つき大会



デイセンターあゆみの家 (1/4)
新年会

最近のできごと (11/1 ~ 2/10)

- 11/ 2(土) 運動会 (デ・センターあゆみの家)
10周年記念 ふれあいフェスティバル
(林町デイセンター)
レクリエーション活動 (第二あゆみの家)
- 11/10(日) 岐阜県ドリームスポーツ大会参加(きずな 2006)
- 11/12(火) ホップ・ステップ・ジャンプ 1日外出 木曽三川公園
(林町デイセンター)
綾里幼保園交流会 (ぐっどらんど)
- 11/18(月) えーるグループ 1日外出(ミシガンクルーズ)
(第二あゆみの家)
- 11/19(火) ワンピースグループ 1日外出 みかん狩り
(林町デイセンター)
- 11/27(水) 企業チャレンジ見学会
株式会社関ヶ原製作所 (就・生センター)
- 12/ 4(水) 発達に障がいのある方の就労支援セミナー
(就・生センター)
- 12/14(土) クリスマス会 (林町デイセンター)
- 12/15(日) 大垣ルーテル教会クリスマス祝会(きずな 2006)
- 12/28(土) 紅白歌合戦 (第二あゆみの家)
- 1/ 1(水) 大垣ルーテル教会元旦礼拝参加(きずな 2006)
- 1/ 4(土) 新年会(デ・センターあゆみの家・ぐっどらんど)
- 1/ 9(木) 児童養護施設・労働・教育との
雇用促進連携会議 (就・生センター)
- 1/11(土) お楽しみ活動 (もちつき・書初め)
(デ・センターあゆみの家)
新年会 (林町デイセンター)
- 1/18(土) 餅つき大会 (第二あゆみの家)
- 2/ 4(火) ワンピースG 1日外出 いちご狩り
(林町デイセンター)
- 2/ 6(木) 障がい者就職合同面接会 岐阜産業会館
(就・生センター)

ふれあい交流 (11/1 ~ 2/29)

延べ: 4回 73人
<学校名>
垂井北中学校・垂井東小学校

ボランティア (11/1 ~ 2/29)

延べ: 23回 42人
(団体: 9回37人・個人: 14回5人)
<ボランティア団体名、学校名> ※順不同
大垣市医師会准看護学校・中部学院大学・
大垣ルーテル教会・わいわいクラブ・大垣教会・
岐阜教会・いずみ大正琴・コーラズドリーム

共同募金 配分事業

今年3月、岐阜県共同募金会より配分を受け、「第二あゆみの家」で使用する温蔵庫を購入することができました。ありがとうございました。



編集後記 今年2月に、あゆみの家の創設当時からの職員であった安井さんが亡くなりました。96歳でした。安井さんは、「ルターホーム」で主に仕事をされていました。「ルターホーム」は障がいのある方が生活をするホームでしたが、時々ホームレスのような方も、受け入れておられました。どんな方でも困っておられる方に、愛をもって接してこられた安井さん。あゆみの家の愛の精神を生きてこられた方だと思います。とても寂しいと思いますが、その愛の精神を引き継いでいかなければと思います。

新型コロナウイルスが全世界にひろがり大変な状況になっています。この事態が少しでも早く収束しますよう、特に重い障害などで体の弱い方たちが感染から守られますよう、お祈りしたいと思います。(小林)

編集: 社会福祉法人あゆみの家

〒503-2123 岐阜県不破郡垂井町栗原2066-2

URL <https://ayumi-ie.com/>

E-mail ay464h@he.mirai.ne.jp

グループホームのご案内

●あゆみホーム Tel 0584-82-3056	●めぐみホーム Tel 0584-22-3712	●東神田ホーム Tel 0584-22-2264	●別荘ホーム Tel 0584-34-3811	●養老公園ホーム Tel 0584-34-3170
●青柳ホーム Tel 0584-89-6231	●綾野ホーム Tel 0584-92-2405	●表佐ホーム Tel 0584-23-3305	●習南ホーム Tel 0584-22-5079	●あいかわホーム Tel 0584-23-0822